

HPAI 防疫措置にかかると周辺環境調査：岡山県井笠家保 和仁佳史、いざさ啓介

当家保管内の R4 シーズン HPAI 発生に係る防疫措置等による周辺環境への影響を把握するため、以下について定期的な環境調査を実施。① 10 地点の水質検査 10 項目（COD、EC、塩化物イオン等）。② 殺処分鶏を埋却した埋却地周辺の嗅覚測定及びガス抜き管の臭気検査 3 項目（アンモニア、硫化水素、メルカプタン類）。③ 目視による埋却地の状況確認。その結果、①それぞれの最大値は COD:65ppm、EC:67ms/m、塩化物イオン:34mg/l、Ca イオン:97mg/l、アンモニア性窒素:1.9mg/l、亜硝酸性窒素:0.39mg/l、硝酸性窒素:16mg/l と参考値よりやや高い数値が散見されたが総合的に異常なし。②ガス抜き管からアンモニアが最大で 1.6ppm 検出されたが、周辺は埋却物由来の臭気なし。③埋却約 2 ヶ月後、埋却地の陥没が確認されたため、新たに土を投入・整地。その後特に異常なし。調査結果は地域住民説明会で適宜報告。今後も環境調査と地域住民への適切な対応を継続予定。